

新旧学習指導要領内容対照表【低学年】

A 主として自分自身に関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[善悪の判断, 自律, 自由と責任]	よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行うこと。	【1-(3)正しい判断・勇気】 よいことと悪いこととの区別をし, よいと思うことを進んで行う。
[正直, 誠実]	うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活すること。	【1-(4)正直・明朗】 うそをついたりごまかしをしたりしないで, 素直に伸び伸びと生活する。
[節度, 節制]	健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする <u>こと</u> 。	【1-(1)規則正しい生活】 健康や安全に気を付け, 物や金銭を大切にし, 身の回りを整え, わがままをしないで, 規則正しい生活をする。
[個性の伸長]	自分の特徴に気付くこと。	
[希望と勇気, 努力と強い意志]	自分のやるべき勉強や仕事をしっかりと行う <u>こと</u> 。	【1-(2)勤勉・努力】 自分がやらなければならない勉強や仕事は, しっかりと行う。
[真理の探究]		

B 主として人との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[親切, 思いやり]	身近にいる人に温かい心で接し, 親切に <u>すること</u> 。	【2-(2)思いやり・親切】 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し, 親切にする。
[感謝]	家族など日頃世話になっている人々に感謝 <u>すること</u> 。	【2-(4)感謝】 日ごろ世話になっている人々に感謝する。
[礼儀]	気持ちのよい挨拶, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接 <u>すること</u> 。	【2-(1)礼儀】 気持ちのよいあいさつ, 言葉遣い, 動作などに心掛けて, 明るく接する。
[友情, 信頼]	友達と仲よくし, 助け合う <u>こと</u> 。	【2-(3)友情・助け合い】 友達と仲よくし, 助け合う。
[相互理解, 寛容]		

C 主として集団や社会との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[規則の尊重]	約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切に <u>すること</u> 。	【4-(1)規則尊重, 公德心】 約束やきまりを守り, みんなが使う物を大切に <u>すること</u> 。
[公正, 公平, 社会正義]	自分の好き嫌いとらわれないで接 <u>すること</u> 。	
[勤労, 公共の精神]	働くことのよさを <u>知り</u> , みんなのために働く <u>こと</u> 。	【4-(2)勤労】 働くことのよさを <u>感じて</u> , みんなのために働く。
[家族愛, 家庭生活の充実]	父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つ <u>こと</u> 。	【4-(3)家族愛】 父母, 祖父母を敬愛し, 進んで家の手伝いなどをして, 家族の役に立つ <u>喜びを知る</u> 。
[よりよい学校生活, 集団生活の充実]	先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しく <u>すること</u> 。	【4-(4)愛校心】 先生を敬愛し, 学校の人々に親しんで, 学級や学校の生活を楽しくする。
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度]	我が国や郷土の文化と生活に親しみ, 愛着をもつ <u>こと</u> 。	【4-(5)郷土愛】 郷土の文化や生活に親しみ, 愛着をもつ。
[国際理解, 国際親善]	他国の人々や文化に親しむ <u>こと</u> 。	

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[生命の尊さ]	生きることの <u>すばらしさを知り</u> , 生命を大切に <u>すること</u> 。	【3-(1)生命尊重】 生きことを喜び, 生命を大切に <u>する心をもつ</u> 。
[自然愛護]	身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接 <u>すること</u> 。	【3-(2)自然愛, 動植物愛護】 身近な自然に親しみ, 動植物に優しい心で接する。
[感動, 畏敬の念]	美しいものに触れ, すがすがしい心をもつ <u>こと</u> 。	【3-(3)敬けん】 美しいものに触れ, すがすがしい心をもつ。
[よりよく生きる喜び]		

指導上の留意点
進んで行う実践力を生むためには, まずは善悪をしっかりと見分ける判断力が必要であるという, 構造的な捉えをした上で指導にあたることが大切である。
素直というのは, 自分のよき心に対して「直(まっすぐ)」ということである。悪しき心に「直」なことを素直とは言わない。そのような観点をもって授業中の子どもの言葉を拾いたい。
行動化までをイメージして指導を行いやすい内容項目である。「何のため」を理解させた上で, 実生活場面での実践に導きたい。
新設項目。特徴とは長所も短所も含む, 丸ごとの自分である。多様な観点から自分を見つめ直させるきっかけとしたい。
自分が「やらなければならない」から「やるべき」に変更されたということは, 強制的なものではなく, 自ら判断して行うという意識を大切にすべきということである。そのような「もと」の心に気づかせたい。

指導上の留意点
対象が「幼い人や高齢者」という限定がなくなり「身近にいる人」に広がった。「することがいいことだから」ではなく「相手のことが気になり, そうしたいと思ったから」という心の遣り方に焦点をあてたい。
「家族」という身近な人のことを考えることから始め, 当たり前のようについてくれる人たちのことを再認識できるような, 多面的・多角的な観点をもたせたい。
これも行為行動まで言及する教育の一環として, まずは「きちんとやってみよう」から始まり, 「それでどうだったか」に発展させたい。
仲よくすることと助け合うことは並列ではない。仲がよくなくても助け合いはできる。相手のことを思う心の表れがあって, 助け合うという行為が意味をなすのである。

指導上の留意点
「みんなが使う物を大切に <u>すること</u> 」が「約束やきまりを守る」ことではなく, みんなのことを思う心がきまりを生むのである。そのような, 先に結論ありきではない話し合いをさせたい。
新設項目だけに, 慎重に扱いたい。誰にとっても納得の出来る観点から人をみようということである。
働く「よさ」にはいろいろなものがある。「見返り」「賞賛」「心地よい疲れ」「爽快感」「充実感」など, それらの「よさ」を比べさせたい。
「役に立つ喜びを知る」が「役に立つこと」とストレートな言い回しになっている。行ってみて分かることもあるであろう。が, 最終的には喜びにつなげたい。
楽しい学校生活を送るためには, そこにいる人を好きになることである。まずは教職員の自分(児童)たちに対する思いや言動を具体的に理解させることである。
「我が国」という文言が入った。これは愛着をもつ郷土の集合体ということであり, どの地域にも共通する心を認識させたいということである。
新設項目であるが, 上記項目の「どの地域にも共通する心」を広げれば, 「我が国」から「他国」へと自然に目が向くはずであろう。

指導上の留意点
「喜び」が「すばらしさを知り」に変わったということは, 生命の尊厳について, 知的に理解することから始めるということである。
体験を通して自然に親しみ, 接するにはこの時期がいちばんである。実体験とも関連させながらきちんと向き合わせたい。
本物を体験することが大切である。そして, その体験を「きれい」のひとつで終わらせない指導が大切である。

新旧学習指導要領内容対照表【中学年】

A 主として自分自身に関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[善悪の判断, 自律, 自由と責任]	正しいと判断したことは、 <u>自信</u> をもって行うこと。	【1-(3)正しい判断・勇気】 正しいと判断したことは、 <u>勇気</u> をもって行う。
[正直, 誠実]	過ちは素直に改め、正直に明るい心で生活すること。	【1-(4)正直・明朗】 過ちは素直に改め、正直に明るい心で元氣よく生活する。
[節度, 節制]	自分でできることは自分でやり、 <u>安全</u> に <u>気</u> を付け、よく考えて行動し、 <u>節度</u> のある生活をする <u>こと</u> 。	【1-(1)節度ある生活】 自分でできることは自分でやり、よく考えて行動し、 <u>節度</u> のある生活をする。
[個性の伸長]	自分の特徴に <u>気</u> 付き、 <u>長所</u> を伸ばす <u>こと</u> 。	【1-(5)個性の伸長】 自分の特徴に <u>気</u> 付き、 <u>よい所</u> を伸ばす。
[希望と勇気, 努力と強い意志]	自分でやろうと決めた <u>目標</u> に向かって、 <u>強い意志</u> をもち、 <u>粘り強くやり抜くこと</u> 。	【1-(2)高い目標・努力, 不とう不屈】 自分でやろうと決めたことは、 <u>粘り強くやり抜く</u> 。
[真理の探究]		

B 主として人との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[親切, 思いやり]	相手のことを思いやり、進んで親切にすること。	【2-(2)思いやり・親切】 相手のことを思いやり、進んで親切にする。
[感謝]	家族など生活を支えてくれた人々や現在の生活を築いてくれた高齢者に、 <u>尊敬</u> と <u>感謝</u> の気持ちをもって接する <u>こと</u> 。	【2-(4)尊敬・感謝】 生活を支えている人々や高齢者に、 <u>尊敬</u> と <u>感謝</u> の気持ちをもって接する。
[礼儀]	礼儀の大切さを知り、誰に対しても <u>真心</u> をもって接する <u>こと</u> 。	【2-(1)礼儀】 礼儀の大切さを知り、だれに対しても <u>真心</u> をもって接する。
[友情, 信頼]	友達と互いに理解し、 <u>信頼</u> し、助け合う <u>こと</u> 。	【2-(3)信頼・友情】 友達と互いに理解し、 <u>信頼</u> し、助け合う。
[相互理解, 寛容]	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。	

C 主として集団や社会との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[規則の尊重]	約束や社会のきまりの <u>意義</u> を理解し、それらを守る <u>こと</u> 。	【4-(1)規則尊重, 公徳心】 約束や社会のきまりを守り、 <u>公徳心</u> をもつ。
[公正, 公平, 社会正義]	誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。	
[勤労, 公共の精神]	働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く <u>こと</u> 。	【4-(2)勤労・社会奉仕】 働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働く。
[家族愛, 家庭生活の充実]	父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる <u>こと</u> 。	【4-(3)家族愛】 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。
[よりよい学校生活, 集団生活の充実]	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくる <u>こと</u> 。	【4-(4)愛校心】 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。
[伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度]	我が <u>国</u> や <u>郷土</u> の <u>伝統</u> と <u>文化</u> を大切に <u>し</u> 、 <u>国</u> や <u>郷土</u> を愛する心をもつ <u>こと</u> 。	【4-(5)郷土愛】 郷土の <u>伝統</u> と <u>文化</u> を大切に <u>し</u> 、 <u>郷土</u> を愛する心をもつ。 【4-(6)愛国心・国際理解】 我が <u>国</u> の <u>伝統</u> と <u>文化</u> に <u>親しみ</u> 、 <u>国</u> を愛する心をもつとともに、 <u>外国</u> の人々や <u>文化</u> に関心をもつ。
[国際理解, 国際親善]	<u>他国</u> の <u>人々</u> や <u>文化</u> に <u>親しみ</u> 、 <u>関心</u> をもつ <u>こと</u> 。	【4-(6)愛国心・国際理解】 我が <u>国</u> の <u>伝統</u> と <u>文化</u> に <u>親しみ</u> 、 <u>国</u> を愛する心をもつとともに、 <u>外国</u> の <u>人々</u> や <u>文化</u> に関心をもつ。

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
[生命の尊さ]	生命の <u>尊さ</u> を知り、生命あるものを大切に <u>する</u> こと。	【3-(1)生命尊重】 生命の <u>尊さ</u> を感じ取り、生命あるものを大切に <u>する</u> 。
[自然愛護]	自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切に <u>する</u> こと。	【3-(2)自然愛, 動植物愛護】 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切に <u>する</u> 。
[感動, 畏敬の念]	美しいものや <u>気</u> 高いものに感動する心をもつ <u>こと</u> 。	【3-(3)敬けん】 美しいものや <u>気</u> 高いものに感動する心をもつ。
[よりよく生きる喜び]		

指導上の留意点
自信をもって行うことができるということは、それだけの判断基準が自分の中にできているということである。その判断力をつけるために、しっかりと問題意識をもって考えさせたい。
正直とは「正しく直す」と考えられ、正しく直すことができるためには、よき心に向かって素直であることが大切。そのような心があってはじめて、自らの過ちをごまかさずに、きちんと向き合うことができるようになるということを教えたい。
自分でできることが増えてきたこの時期だからこそ、その意味や質を改めて考えさせることが重要である。形だけではない生活習慣のよさについて考えさせたい。
長所・短所を認識した上で、自分のよいところを磨くことが大切。長所をもっているだけでは自己の成長は望めない。このことを具体を通してしっかりと考えさせる必要がある。
強い意志で粘り強くやり抜くためには、目標という方向性が大切である。その目標設定を自分自身で行うことができる観点を示してやるのが大切である。

指導上の留意点
対象が低学年より広がり、相手意識が高まるようにしたい。その結果として「進んで」行動できるという所につなげたい。
感謝をする対象の人物像がより具体的になっている。支えられているという事実を知的に理解することで、尊敬の念が生まれ、それが自然に感謝の心へと移っていく、その構造を明確にもって指導にあたりたい。
ふだんの体験から「礼儀の大切さ」について実感させておき、それをもとにして授業に臨む。あらかじめ思ったことを書かせておいてもよい。
ただいっしょに何かをするという表面的な友達から、相互の関係性を考えさせることで、より深い友達関係のよさが分かってくるような展開にしたい。
他者の同質性と異質性を理解させる必要がある。自分と同じ思いだから理解できる部分と、違うからこそ尊重し合う部分である。それができることで、いじめ問題につながる学習になる。

指導上の留意点
「意義を理解する」ということは「約束だから」「きまりだから」ではない、もっと根源的な「〇〇だから」を見つけ、理解することである。
とかく損得勘定や利己的感情に流されがちであるが、少し自分を離れた立ち位置からものをみることができるようにし、そのよさについて実感できるようにするために新しく設置された項目である。
低学年で「よさ」を知り、中学年では「大切さ」に気づくというステップを踏む。大切さは、我が身にとつてというだけでなく、組織や社会全体に寄与するものであることに自然につなげていきたい。
家族のよさやその中で自分の居場所が感じられるからこそ、互いの結びつきは強くなる。そこから「楽しい家庭をつくる」一員としての自覚が生まれるように指導を進めたい。
一人ひとりが楽しい学級や学校をつくる一員であることを目指すが、そのためには、ベースにその学級や学校に対する愛着心がなければならない。それをセッにして指導することを忘れてはならない。
伝統や文化など、目には見えにくいものを授業の中でみえるようにすることで、再認識し愛着がわいてくるように展開したい。
知り、親しみをもてばもつほど、興味・関心がわく。その意識を授業後につなげ、さらに発展を図ることが大切である。

指導上の留意点
「感じ取り」が「知り」になっている。感覚的な理解より、知的な把握・理解が先であるということである。しかし、その後に感動を伴う心の動き、すなわち「感じ取り」が必要であることに変わりはない。
「感動し」が「感じ取り」になっている。「感動を伴う、知的理解」とらえてよいだろう。授業では、具体的教材をもとにして、子どもの心を動かすものは何なのだろう」という観点で深く考えさせたい。
「感動」の本質は、人を超えた大いなるものの存在の認識である。その感覚を、興味本位や奇を衒 ^て うことなく、じっくりと味わわせたい。

新旧学習指導要領内容対照表【高学年】

A 主として自分自身に関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
〔善悪の判断, 自律, 自由と責任〕	自由を大切にし, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。	【1-(3)自由・自律・責任】自由を大切にし, 自律的で責任のある行動をすること。
〔正直, 誠実〕	誠実に, 明るい心で生活すること。	【1-(4)誠実・明朗】誠実に, 明るい心で楽しく生活すること。
〔節度, 節制〕	安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。	【1-(1)節度・節制】生活習慣の大切さを知り, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。
〔個性の伸長〕	自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。	【1-(6)個性の伸長】自分の特徴を知って, 悪い所を改めよい所を積極的に伸ばすこと。
〔希望と勇気, 努力と強い意志〕	より高い目標を立て, 希望と勇気を持ち, 困難があってもくじけずに努力して物事をやり抜くこと。	【1-(2)高い目標・勇気, 不とう不屈】より高い目標を立て, 希望と勇気をもってくじけないで努力すること。
〔真理の探究〕	真理を大切にし, 物事を探究しようとする心をもつこと。	【1-(5)真理・進取・工夫】真理を大切にし, 進んで新しいものを求め, 工夫して生活をよりよくする。

B 主として人との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
〔親切, 思いやり〕	誰に対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にすること。	【2-(2)思いやり・親切】だれに対しても思いやりの心を持ち, 相手の立場に立って親切にする。
〔感謝〕	日々の生活が家族や過去からの多くの人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し, それに応えること。	【2-(5)尊敬・感謝】日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し, それにこたえる。
〔礼儀〕	時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。	【2-(1)礼儀】時と場をわきまえて, 礼儀正しく真心をもって接すること。
〔友情, 信頼〕	友達と互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 異性についても理解しながら, 人間関係を築いていくこと。	【2-(3)信頼・友情, 男女の協力】互いに信頼し, 学び合って友情を深め, 男女仲よく協力し助け合う。
〔相互理解, 寛容〕	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 謙虚な心を持ち, 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。	【2-(4)謙虚・広い心】謙虚な心を持ち, 広い心で自分と異なる意見や立場を大切にすること。

C 主として集団や社会との関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
〔規則の尊重〕	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り, 自他の権利を大切にし, 義務を果たすこと。	【4-(1)公德心, 規則尊重・遵法, 権利・義務】公德心をもって法やきまりを守り, 自他の権利を大切にし進んで義務を果たす。
〔公正, 公平, 社会正義〕	誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく, 公正, 公平な態度で接し, 正義の実現に努めること。	【4-(2)公正・公平, 正義】だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正, 公平にし, 正義の実現に努める。
〔勤労, 公共の精神〕	働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうとともに, その意義を理解し, 公共のために役に立つことをすること。	【4-(4)勤労・社会奉仕】働くことの意義を理解し, 社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをすること。
〔家族愛, 家庭生活の充実〕	父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。	【4-(5)家族愛】父母, 祖父母を敬愛し, 家族の幸せを求めて, 進んで役に立つことをすること。
〔よりよい学校生活, 集団生活の充実〕	先生や学校の人々を敬愛し, みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに, 様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	【4-(6)愛校心】先生や学校の人々への敬愛を深め, みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。 【4-(3)社会的役割の自覚と責任】身近な集団に進んで参加し, 自分の役割を自覚し, 協力して主体的に責任を果たす。
〔伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度〕	我が国や郷土の伝統と文化を大切にし, 先人の努力を知り, 国や郷土を愛する心をもつこと。	【4-(7)郷土愛・愛国心】郷土や我が国の伝統と文化を大切にし, 先人の努力を知り, 郷土や国を愛する心をもつ。
〔国際理解, 国際親善〕	他国の人々や文化について理解し, 日本人としての自覚をもって国際親善に努めること。	【4-(8)国際理解と親善】外国の人々や文化を大切にすることをもち, 日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。

D 主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること	改正後内容項目	現行版内容項目
〔生命の尊さ〕	生命が多くの生命のつながりの中にあるかけがえのないものであることを理解し, 生命を尊重すること。	【3-(1)生命尊重】生命がかけがえのないものであることを知り, 自他の生命を尊重すること。
〔自然愛護〕	自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にすること。	【3-(2)自然愛・環境保全】自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にすること。
〔感動, 畏敬の念〕	美しいものや気高いものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつこと。	【3-(3)敬けん】美しいものに感動する心や人間の力を超えたものに対する畏敬の念をもつ。
〔よりよく生きる喜び〕	よりよく生きようとする人間の強さや気高さを理解し, 人間として生きる喜びを感じる。	

指導上の留意点
「自律的に判断」という文言に変更。これは, 判断のもととなる自分自身の心の構えをしっかりともたせるということを強調しているわけである。授業においても, 他律的な判断と自律的な判断の違いについて心に留めながら展開する必要がある。
「楽しく」を削除。「明るい心で生活」ということは単純な「楽しさ」とは違うレベルである。そのような観点で授業に臨みたい。
「知り」が「理解し」に変更。ただ知識として知っているだけではなく, その意味やよさを理解する, 実感することである。また, 授業の中で, 「知っていると思っていたことが改めて分かった」となるように意識して指導することも必要である。
短所も改善すれば長所になる。短所をなくす, 減らすという発想とは少し異なる。客観的に自分をメタ認知できるようになるこの学年だからこそ, きちんと自分自身に向き合い, よりよく伸ばすことができる学習が可能となるはずである。
「困難があってもやり抜く」という文言が追加。努力には継続性が重要であり, それを可能にするのが高い目標に向かう崇高な向上心である。そのような構造を理解し授業にあたりたい。
「新しいものを求め」「工夫して生活をよりよく」が変更。探求心をもって臨むことが, これまでの積み上げをもとにしながら新しいものを生み出す原動力となる, 温故知新の世界である。それをおさえたい。

指導上の留意点
「誰に対しても」ということは, 視野の広がりを促しているということ。思いやりの心があれば, その時と場と相手によって, 自分の行動を判断し, 実行できるようになるということである。
「感謝」というのは支えてくれている人々に対する尊敬の念から生まれることを中学年までに学習した。それを踏まえて, 「感謝」の気持ちを持ちながら自分にどのようなことができるだろうかまでを考えさせるのが, 高学年の段階である。このような系統性の意識が必要である。
この内容項目も行為行動の学習と密接に関係しており, 関連させることが必要な内容である。授業の前後で, 体験したこととつなげることが肝要。
「男女仲よく協力し助け合う」が変更。異性も同性もそれぞれの持ち味を認め合い, 生かし合いながら, 人間関係の構築が最終目標となるわけである。表面的な「みんな仲よく」というようなスローガンは避けたい。
相手を認める, 受け入れる広い心には「謙虚な心」すなわち, 自分を下に置くようなへりくだった視点も大切であるということ。それが多角的視点であろう。そのような横の広がりだけでなく, 上下の広がりも視野に入れた指導が必要である。

指導上の留意点
「公德心」という言葉が抜けた。重きを置かないということではなく, 書かなくてもあることが前提ということだと考えたい。その上での義務であり, 権利である。実態に応じて, どこに焦点をあてるかは決まってくる。
低・中・高学年の系統性が明示された意味を考えたい。高学年では「社会正義」にまで言及したい。
「充実感を味わう」が追加。実際に行った上での理解を期待したい。そのためには, 授業の前後で, 進んで働く体験を重ねるような意図的・計画的な学習設計が必要である。
低・中学年との違いは, ゴールの見通しをもった上で活動を促すことであるが, 基本のおさえはいっしょである。緩やかな系統性の中で, 実態に応じて行ったり来たりすることが必要であろう。
従来の「愛校心」と「社会的役割の自覚と責任」がミックスされている内容。低学年中学年の項目からいきなり飛ぶ感じだが, 学級一学校一地域社会という広がりとして捉えれば, 整合性はつくであろう。
「先人の努力を知る」ということは, 今現在の事柄だけを見るのではなく, これまでの, そしてこれからのことを考えるという, 時系列の視点をもつということであり, そのような教材となる人物・事柄を乗りこえられる指導が必要となる。
「理解し」という文言が追加。他教科・領域の学習とも関連させて理解を深め, その上で改めて日本を考えるというスタンスがよい。

指導上の留意点
「つながりの中にある」という文言が追加。これは生命の連続性・関係性という観点で重要な視点である。様々なつながりを意識させることが肝要。また, 生命尊重の観点はそれだけではない。ポイントを押さえて複数時間で指導する必要のある, 重要な内容項目である。
「動植物愛護」の観点が抜けているが, 自然の中に動植物も含まれる, さらに人間もその中の一要素であるとの認識に立って指導したい。
畏敬の念とは, 人間にとって都合のよいことばかりではないということである。人間を超えたものの存在を意識するかどうかで, 人の生き方は変わってくるであろう。
すべての内容項目を包括し, まとめるような内容項目。様々な内容項目が複合的に絡み合い, 構造的に支え合いながら成り立っていることを意識しながら読み解いていく。指導上キリのよい「節目」で使いたい。